

京丹後市立久美浜病院広報

2010  
春号

平成22年  
3月20日発行  
通算75号

# 院にゃあねっと



特集

P2,3 歯科口腔外科

P4,5 第6回久美浜病院院内学会

P7 子どもたちのための心肺蘇生教室

小児科医院を開業しながら  
P6 久美浜病院に勤務しています

P8 院内ぴあのコンサート

当院歯科口腔外科は、病院内外に口腔外科の認識が高まり、京丹後市はもとより、与謝郡、宮津市からの患者さんも多く、さらに豊岡、香住等、遠方より当科を信頼して来院していただいております。顎顔面領域の全身麻酔手術件数も昨年度で、160症例を超え、入院患者数も年間延べ2,300人と、年々実績も上がっており、京都北部の口腔外科の基幹病院としての使命を24時間体制で果たしています。

また、歯科治療や手術だけではなく、ご高齢の方や難病の方の口腔ケア、摂食嚥下訓練についても行ってまいります。

さらに、高度先進医療として、住民の要望が高いデンタルインプラントを開始しました。デンタルインプラントについてご存知でない方もいらっしゃると思いますので、今回は少しQ&A方式で説明させていただこうと思います。



## デンタルインプラントQ&A

### ☆デンタルインプラントとはどんなものですか？

骨の中に金属などを埋め込むことを総称してインプラントといいます。

口腔外科でのインプラントとは第三の歯とも呼ばれており、歯の抜けたところにインプラント(チタンで作られた人工の根)を顎の骨の中に埋め込み、チタンと骨がくっついた後、根の上に歯をくっつけます。固定式で入れ歯のように動いたりせず、患者さんにあわせて一本一本歯を造るので天然歯と同様にものを噛むことができます。

### ☆治療法とはどのようなものですか？

歯肉を切り開いて、顎の骨にインプラントを埋め込みます。その後、歯肉を縫合します。その状態で3,4ヶ月ほど待ちます。しっかりとインプラントと骨が結合したのを確認してから再び歯肉を切り開き、インプラントに歯の土台となる部分をねじで固定します。その後、型どりを行い、土台の上に人工の歯(上部構造)を作ります。インプラント治療には基本的に2回の手術が必要になります。骨の中にインプラントを埋め込む1回目の手術とインプラントの上に土台をたてる2回目の手術が必要になります。

### ☆入院は必要ですか？

基本的に入院は必要なく、日帰り手術となりますが、多数のインプラントを埋める場合や骨を移植する場合は、短期間の入院が必要なケースもあります。

### ☆治療の流れ・期間はどれくらいですか？

#### 1. 初診

インプラント治療の説明、相談。  
費用の見積もり。  
口腔内の精査、レントゲン撮影等を行います。

#### 2. 1次手術

顎の骨の中にインプラントを埋め込みます。

#### 3. 約1週間後、消毒、糸抜きを行います。

#### 4. 2次手術

1回目の手術から3ヶ月から6ヶ月後(患者さんの治癒状態や骨の状態により変わります)に2次手術を行います。(入院不要)

#### 5. 約1週間後、消毒、糸抜きを行います。

#### 6. 歯肉の治癒状態をみて、精密な型どりを行います。

#### 7. 仮の歯を装着し、かみ合わせや、発音、審美性、清掃性に問題が無いか確認します。

#### 8. 仮の歯の形態に問題が無ければ、ジルコニアやポーセレンなどの陶製の最終的なかぶせ物(上部構造)を作成し、装着します。

#### 9. 最終的な歯(上部構造)が入った後は、インプラントをより長く使っていただくために定期的なメンテナンスが必要になります。

### ☆費用はどれくらい？

#### 1本だけインプラントを埋め込む場合

この場合はレントゲン、CT、血液検査代がかかるため、1本約40万円が必要になりますが、2本目以降は検査代が必要なくなるため1本につき約30万円です。

#### 3歯欠損の場合

欠損した部位にインプラントを3本埋め込み、それぞれに上部構造物をかぶせる場合、約100万円必要になります。(レントゲン検査、血液検査、入院費用等を含む)

### ☆ほかの歯科医院でインプラントは無理って言われたんですけど、インプラント治療は可能ですか？

当院では、口腔外科の専門医とインプラント専門の歯科医師が手術を行うため、他院では難しいといわれた方でも、顎の骨を増やす手術を行い、インプラント治療が可能になる場合がありますので、お気軽にご相談ください。

## インプラントと入れ歯・ブリッジの違い

### 従来の治療法

#### ブリッジ

違和感は少ないですが、健康な歯に負担をかけてしまう弱みがあります。

- 健康な歯を削る必要があります
- 支える健康な歯の負担が増えます
- 歯が抜けた部分の顎骨が次第にやせます

#### 入れ歯

健康な歯を削る必要はないものの、食事面や見た目にも課題があります。

- 硬いものや粘りのある食物に苦します
- 異物感、違和感、痛みを感じることがあります
- 臭いや汚れなど手入れが大変になります
- 留め金などにより審美性に欠けることがあります

### インプラント治療

歯の抜けたところにインプラントを埋め込み、人工の歯を被せるので両隣の歯を削ることはありません。入れ歯を固定する金具がないので異物感がなく、また他の歯に負担をかけません。インプラントにより、入れ歯をしっかりと固定できるので、入れ歯を気にせず食事や会話を楽しむことができます。

その他、入れ歯があわないので、入れ歯の固定源として、インプラントを2,3本を埋入して、その上に入れ歯を作り、安定をはかるオーバーデンチャーというものもあります。ぜひ、お気軽にご相談ください。

# 第6回久美浜病院院内学会

「最前線で医療崩壊に挑む」というテーマのもと、13題（弥栄病院1題含む）の演題が発表されました。中山京丹後市長をはじめ市議会議員、京丹後市消防本部の方々も参加されました。

テーマ：最前線で医療崩壊に挑む

開会のあいさつ 奥田院長

中山京丹後市長によるあいさつ

演題1 「地域医療の輝く未来のために」 副院長

演題2 「下顎癌の術後患者にデンタルインプラントを用いて機能回復を施行した1例」 歯科口腔外科



演題1



演題2



演題3



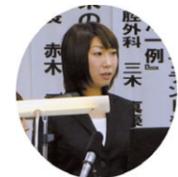
演題4



演題5



演題6



演題7



演題8



演題9



演題10



演題11



演題12



演題13

閉会のあいさつ 赤木副院長



平成22年1月16日（土）久美浜市民局で開催



# 小児科医院を開業しながら

## 久美浜病院に勤務しています

大宮町でふじわらクリニック開業をしている小児科医の藤原大輔です。昨年の12月より久美浜病院で診療業務に従事させていただいています。

### 不備な時間帯

早いもので、私が京丹後市に移り住んできて、5年になります。当地で働き始めてまず感じたことは、夕方から夜間の時間帯の小児医療の不備でした。小児は、夕方から夜間に掛けて突然症状が悪化することが多いです。

また、働くお母さん方にとって夜間に受診できる医療機関があれば非常に便利です。需要は多くありました。

### 午後からは開業医

しかし、この時間帯に診療を行うことは勤務医では困難があるため、この不備を補うために、午後から夜間に診療時間の中心を置いた一見風変わりな小児専門のクリニックを立ち上げ、それなりに効果があったと自負しています。

### 午前中は勤務医

また、手のあいた午前中には、丹後地方の小児医療の充実のために微力ながらも尽力したいという思いと、自らの研鑽を積む目的のために、いくつかの医療機関で働かせていただき、新生児や重症の入院患者の診療に当たるなどを行ってきました。

### 朝な夕な西へ東へ

しかし、自分の思いと合致する場所が無く、今回、多くの方々からのお誘いもあり、久美浜病院で働かせていただく事になりました。

その結果、京丹後の小児医療は、日中は西の久美

浜病院で、夕方から夜間は東のふじわらクリニックで、重症の入院患者の医療は久美浜病院で岩見先生と私が共同であることで、より良い医療サービスを提供できることになったのではないかと考えてます。

### 二人きりの小児科医有効活用

人口が6万人を超える京丹後市には常勤の小児科医は二人しかいません。医師が疲弊することなく、この少ない人材資源を有効に使うには、この状況がベストと思えます。これまで勤務した病院はどれも有能なスタッフに恵まれてましたが、私は小児医療に関する思いが強いようで、医療の充実のために高度な要求をしがちで、それがトラブルを招くこともありました。

しかし、小児の健康を守るには妥協はしては行けないと信じてます。久美浜病院も同様にスタッフは有能で、かつ小児医療に理解があり、働きやすい病院で、院長、副院長先生や小児科の岩見先生もこの私の思いをよく理解していただいております、有り難く思っています。

### 小児の時間外医療充実

久美浜病院では夜間などの時間帯は、当直をしている他科の医師が積極的に診療にあたっただけなので、小児科医は疲弊せずに済んでいます。また、この診療業務にあたる医師と看護師の技量が非常に高いので、久美浜病院は全国で一番と言つて良いほど小児の時間外医療は充実しています。

今後は、これらを生かし、病院と開業医が連携し、効率的で充実した小児医療を行い、私たちの形態が全国での模範となるくらいに発展できるように努めたいと思つてます。

# 子どもたちのための心肺蘇生教室



平成22年1月24日(日)に京丹後市立佐濃小学校「父親・母親授業」の中で、PTA役員の方々より依頼があり、当院\*Life Support Teamと京丹後消防の救急救命士3人が協力し、5・6年生(26人)を対象に「子どもたちのための心肺蘇生教室」を行いました。

心肺蘇生を学ぶことで、自分や友達の「生」を人間の五感を使って感じたり、人の命の大切さを実感するという目標を、授業を行いました。

瀬尾泰正医師の話にも真剣な表情で耳を傾けていました。

また、トレーニング人形で心肺蘇生を一人ひとり体験していただきました。



「その時自分に何ができるか」を一緒に考えていただきました。

90分と短い時間での授業でしたが、終了した時はみんなよい表情でした。

機会があれば、他の小学校でも行えればと考えています。



\*Life Support Team  
医師：瀬尾 泰正  
看護師：藤本 江見  
志村 美智子  
若松 桂子  
和田 真希  
谷口 淨

昨年 9 月 26 日、外来待合室でピアノコンサートを開催しました。成田整形外科医長とボランティアの方によるピアノ演奏や、職員有志による合唱

がありました。どれも熱演ばかりでした。

入院患者さん、地域の方など約 70 人の皆さんに堪能していただきました。



# 院内ピアノのコンサート 絆のコミュニケーション



発行 京丹後市立久美浜病院

〒629-3403 京都府京丹後市久美浜町 161

tel 0772-82-1500 fax 0772-82-1504

ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/hospital/kumihama/index.html>